

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	2 年	2	選択
担当教員			
小板橋 信二			
A (会計学科)	S (専門科目)	FN (金融)	202 (中級科目)

授業のねらい（概要）	地域金融機関は特定の地域を営業基盤とし、地域経済と地域中小企業の担い手として社会的に大きな責任を果たしている。地方創生の視点から、地域から期待される地域金融機関の役割と地域における地域金融機関の存在意義について理解する。 具体的には、①金融機関の業態別の特徴・ビジネスモデル、②企業（主に中小企業）の資金需要及び資金調達の仕組み（企業からみた金融）、③地域の円滑な金融機能の発揮を期待される地域金融機関の金融サービス、④地域経済を取り巻く環境変化による地域金融機関の現状と将来像、について学修する。なお、群馬銀行を含めた各地域金融機関のベンチマーク（地域貢献指標）への取組み事例や地域金融機関と地域企業の関係について群馬県内の事例（メインバンクを失った名門企業井上工業の経営破綻、私的整理ガイドラインによる佐田建設の企業再建、地域中小企業への経営改善支援など）を織り込んで授業を進める。		
授業計画	第1回	前期【遠隔】 ガイダンス 金融機関の概念（国内の金融） 失われた20年とは	
	第2回	予習（時間）：シラバスを読み講義概要を理解、教科書p30～49を読む（120） 復習（時間）：配布資料及び講義ノートを見直し、授業のポイントを整理（120） 前期【遠隔】 金融機関の業態別役割 地域金融機関の位置付け メガバンクの合併・再編、地方銀行の再編	
	第3回	予習（時間）：教科書p62～95を読む（120） 復習（時間）：配布資料及び講義ノートを見直し、授業のポイントを整理（120） 前期【遠隔】 地域金融を理解するために 地域金融機関の主要な取引相手方 地域金融機関のビジネスモデル 企業金融の視点	
	第4回	予習（時間）：事前配布したレジュメの該当箇所を読む（120） 復習（時間）：配布資料及び講義ノートを見直し、授業のポイントを整理（120） 前期【遠隔】 企業金融① 企業活動と資金の運用・調達 財務諸表から企業活動を捉える	
	第5回	予習（時間）：事前配布したレジュメの該当箇所を読む（120） 復習（時間）：配布資料及び講義ノートを見直し、授業のポイントを整理（120） 企業金融② 企業の資金需要 運転資金、設備資金、その他資金需要	
	第6回	予習（時間）：事前配布したレジュメの該当箇所を読む（120） 復習（時間）：配布資料及び講義ノートを見直し、授業のポイントを整理（120） 前期【課題】 企業金融③ 企業の資金調達 内部資金による調達（内部留保、減価償却費） 外部資金による調達（企業間信用）	
	第7回	予習（時間）：事前配布したレジュメの該当箇所を読む（120） 復習（時間）：配布資料及び講義ノートを見直し、授業のポイントを整理（120） 前期【課題】 企業金融④ 企業の資金調達 外部資金による調達（借入金、社債の発行、株式の発行）	
	第8回	予習（時間）：事前配布したレジュメの該当箇所を読む（120） 復習（時間）：配布資料及び講義ノートを見直し、授業のポイントを整理（120） 企業金融⑤ 企業の資金調達 経営資源の効率化、流動化 メインバンク制	
	第9回	予習（時間）：事前配布したレジュメの該当箇所を読む（120） 復習（時間）：配布資料及び講義ノートを見直し、授業のポイントを整理（120） バブル経済崩壊以降の地域金融機関 ① 不良債権処理 金融検査マニュアル 中小企業金融円滑化法（モラトリアム法）	
		予習（時間）：事前配布したレジュメの該当箇所を読む（120） 復習（時間）：配布資料及び講義ノートを見直し、授業のポイントを整理（120）	

	第10回 バブル経済崩壊以降の地域金融機関 ② リーマンショックの影響 日本型金融排除と事業性評価 真に顧客本位の業務運営 第11回 予習（時間）：事前配布したレジュメの該当箇所を読む（120） 復習（時間）：配布資料及び講義ノートを見直し、授業のポイントを整理（120） 前期【課題】 地域金融の役割① 地域金融機関を取り巻く環境の変化 法人取引の行方 個人取引の行方 地方公共団体取引の行方 第12回 予習（時間）：事前配布したレジュメの該当箇所を読む（120） 復習（時間）：配布資料及び講義ノートを見直し、授業のポイントを整理（120） 地域金融の役割② 地域経済からの期待 地域密着型金融のビジネスモデル コンサルティング機能の発揮 第13回 予習（時間）：事前配布したレジュメの該当箇所を読む（120） 復習（時間）：配布資料及び講義ノートを見直し、授業のポイントを整理（120） 地域金融の役割③ 企業のライフステージと金融機能 創業支援 経営改善支援 事業再生支援 第14回 予習（時間）：事前配布したレジュメの該当箇所を読む（120） 復習（時間）：配布資料及び講義ノートを見直し、授業のポイントを整理（120） 地域金融の役割④ 地域密着型金融の目指す方向 地域密着型金融の先駆的ビジネスモデル 第15回 予習（時間）：事前配布したレジュメの該当箇所を読む（120） 復習（時間）：配布資料及び講義ノートを見直し、授業のポイントを整理（120） 本講義のまとめ 地域金融の将来像（生き残る地域金融機関とは） 地域金融の課題と競争のあり方 予習（時間）：事前配布したレジュメの該当箇所を読む（120） 復習（時間）：配布資料及び講義ノートを見直し、授業のポイントを整理（120）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力 【身に付くスキル】 地域力・創造的思考力
到達目標	①金融機関の業態別特徴と地域金融機関のビジネスモデルについて理解できる。 ②企業が資金を必要とする理由は何か、又どのように資金を調達するかを説明できる。 ③地域金融機関に期待される役割を理解し、現状・将来像を考察できる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	小テストの注意点やポイントは授業内で解説する。
履修上の注意	①授業に必要な資料は都度配布する。 ②自分が会社の経営者や財務部長になったつもりで受講すると理解が進みやすい。
成績評価の方法・基準	定期試験 60%、授業内で行う小テスト 20%、学修意欲 20%
教科書	書名：手にとるように銀行がわかる本 著者名：（監修）地域金融研究所、（著）岩崎博充 出版社：かんき出版 価格：1400円（税別）
参考書・教材	書名：入門 企業金融論 著者名：中島真志 出版社：東洋経済新聞社 価格：2800円（税別）
備考	講義科目／実務家教員による授業 前期では第6回、第7回、第11回を課題研究として学修する。 第6回 企業の資金需要の演習問題に取り組む。資料の配信・指示及び解答用紙の提出はmellyなどで行う。 第7回 企業の資金調達の演習問題に取り組む。資料の配信・指示及び解答用紙の提出はmellyなどで行う。 第6回、第7回共に、解答例・解説・注意事項等は書面又は第8回の対面授業でフィードバックする。 また、課題研究の詳細な指示は第5回の対面授業で行う。共に全体で330分の学修を想定している。 第11回 群馬県の経営再建事例の評価を行う。資料や情報の配信・指示及びレポートの提出はmellyなどで行う。 課題研究の詳細な指示は第10回の対面授業で行う。共に全体で330分の学修を想定している。 実際の顛末・ポイントは書面又は第12回の対面授業でフィードバックする。 前期においては、新型コロナウイルス感染が長期化する場合に「成績評価の方法・基準」欄の「定期試験」を「最終レポート」に代替する。第1回の授業内で概要を説明し、mellyなどで詳細を告知することとする。
教員との連絡方法	メール